

令和3年度「船上山クラフト祭り」実施報告書

I 事業の概要

1 期日 令和3年12月12日(日) 日帰り



2 日程

12月12日(日)	
9:00	学生ボランティア打ち合わせ(小研)
9:30	受付
10:00	出会いのつどい(R)
10:15	スタートゲーム
	クラフト作成(それぞれ1人1点ずつ作っていただくことができます。かごは1家族1つ) クリスマスリース、かご、キーホルダー、マグネット、まつぼっくりツリー、メモクリップ、自由工作
12:00	各自昼食(おにぎり弁当と豚汁) クラフト作成終了後、各自解散
14:30	終了

3 趣旨

- ・ 自然物を使った工作をとおして、親子の絆を深めるとともに、船上山の自然に興味や関心を持つ。

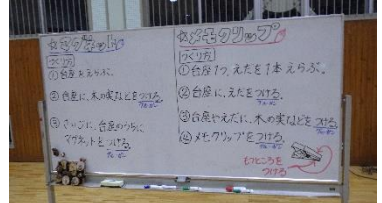
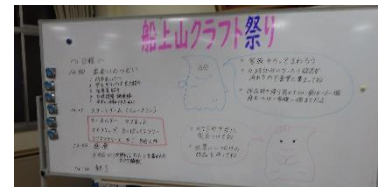
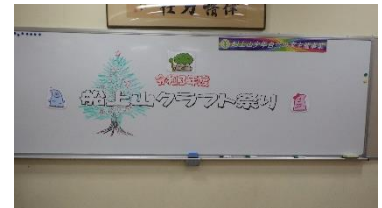
4 対象 小・中学生とその保護者(募集定員16組)

5 応募者数 14組 37名

6 当日参加者数 14組 37名

7 参加費 1人 1,000円

8 学生ボランティア 6名(鳥根大学生)



II 実施状況

出会いのつどいでは、学生ボランティアにも自己紹介をしてもらったり、指導員が小ネタを披露したりと楽しい雰囲気ではじまりました。諸注意でグルーガンの使い方やキリで穴を空けるときの皮手袋使用など、安全面について注意喚起を行った。また、各ブースの作成時間を伝え、参加者が見通しをもって活動していただけるように配慮した。その後、最初に取りかかるブースを決めるためのスタートゲームにヒューストンを行った。なかなか割りばしがボトルに入らない家族もあったが最後は無事、全家族がクリアできた。なお、学生ボランティア6人には各ブースで、活動をサポートしてもらった。

スタートゲームを終えて参加者もスタッフもそれぞれのブースに分かれ、作品作りがスタート。体育館では、キーホルダー、マグネット、メモクリップ、自由工作のブースを設置した。各ブースともホワイトボードを使って、作り方の説明や見本作品を設置して、参加者にもわかりやすい掲示ができた。キーホルダーのブースでは安全面に配慮してキリを扱うのは大人のみとした。それぞれが素敵な作品を作っていたことができた。



レクリエーションホールでは、松ぼっくりツリー、クリスマスリースのブースを設置した。クリスマスシーズン前とあって多くの家族がクリスマスリース作りに挑戦した。つるを曲げていく作業はかなり力が要る作業ではあるが、家族で協力したり、学生ボラがサポートしたりしてまずは土台の部分を作り、飾りつけも楽しみながら取り組んでいた。



小研修室ではかご作りのブースを設置した。かご作りもつるを編み込んでいく作業に時間がかかったが完成すると素敵なかごが出来上り、作られた方も満足そうであった。

昼食は、1人ずつバットで提供した。お弁当と豚汁というメニューであったが特に豚汁は温かく、大好評であった。



昼食を終えられるとすぐに活動に取りかかられる家族が多くあった。できるだけ多くの作品を作りたいという参加者の気持ちの表れだったように思う。

終了時刻の14時30分ぎりぎりまで作品づくりに没頭する家族もあった。帰り際に段ボール一杯に作品をつめて嬉しそうな姿も見られた。



Ⅲ 総括

1 アンケート結果

《参加者の満足度》（参加者14組37名 組ごとにアンケート 回収率100%）

事業全体の満足度は、14組すべてが「満足」と回答。

《参加者の感想》（抜粋）

- ・ 工作が大好きな娘なのでいろいろな物を作れて親子で貴重な体験ができてよかったし、楽しかったです。
- ・ 子ども達とゆっくり過ごすことができ、貴重な時間をもつことができました。スタッフの方も丁寧に教えてくださり、ありがたかったです。



2 成果

- ・ どのブースも説明用の掲示物などがあり、視覚的支援がなされ、参加者にも何をやるのわかりやすかった。
- ・ 事前準備を丁寧にすることで、密を避けて、家族ごとに作品作りに集中してもらえる場づくりができた。
- ・ 参加者に事前に作成時間を伝えることで見通しをもった活動につながった。



3 課題

- ・ 1つ1つの作成時間を考慮すると終了時刻をもう少し遅くしても良かった。
- ・ リピーターの参加者のことを考えると毎年新たな活動を取り入れていく必要がある。